

KÄRCHER



ケルヒャーの コンプライアンス：常に 成功への道を歩みける！

ケルヒャーでは、コンプライアンスを日々の業務に
どのように取り入れているのでしょうか。

CORPORATE | COMPLIANCE

**BE THE
DIFFERENCE**

www.kaercher.com/compliance

コンプライアンスに関する 当社の経営

» 私たちファミリー企業にとって、信頼性、オープンな姿勢、透明性、そして誠実さは、パートナーとの日々の交流と協力を築く基盤そのものです。《

ハルトムート イエナー



従業員の皆さん

日頃より、ケルヒャーの成功に不可欠な貢献を、誠にありがとうございます。

私たちファミリー企業にとって、信頼性、オープンな姿勢、透明性、そして誠実さは、日々のパートナーとの交流と協力の基盤となるものです。私たちは、法的規制や拘束力のあるガイドラインを、倫理原則やコーポレートバリューと組み合わせることを「コンプライアンス」と捉えています。

このパンフレットでは、コンプライアンスというテーマが、私たち一人ひとりにとって決して他人事ではないことを理解いただきたいと考えています。私たちは皆、日々の様々な業務において意思決定を行い、それによってケルヒャーの事業の方向性を左右しています。私たち全員が最善を尽くしてこそ、目標を達成し、国際的な成功を収めることができます。そのためには、私たち一人ひとりが常に正しい行動をとることが不可欠です。法令、価値観、そして原則を遵守しない人がいれば、私たちの評判を損なうだけでなく、会社全体の長期的な成功にも悪影響を及ぼしかねません。

コンプライアンスと誠実さは、私たちの企業理念に深く根ざしています。これらは、私たちが日々の業務においてどのように行動すべきかの枠組みを示し、明確な指針を与えることで、私たちの職業生活全体を導き、支えてくれるものです。

会社と取締役会を代表し、皆さんには、法令、社内規則、自主的な取り組み、そして倫理原則を常に遵守していただくよう、改めて強くお願いします。これらは常に、例外なく、私たちの行動の根幹を成すものです。責任ある企業として、ケルヒャーが製品の卓越性だけでなく、誠実さと公正さにおいても信頼される存在であり続けるために、共に取り組んでいきましょう。

ハルトムート イエナー

コンプライアンス – 正当な理由

私たちは、責任ある行動と法令遵守の徹底が、企業の長期的な経済的成功、そしてお客様、ビジネスパートナー、社会からの信頼を得るための最も重要な基盤の一つであると確信しています。そのため、当社の企業文化は、明確な責任体制、透明性、相互の尊重と信頼によって築かれています。バリューに基づいたコンプライアンス、誠実さ、そして法令遵守は、私たちの日々の業務において不可欠な要素です。

社内におけるコンプライアンス行動を徹底し、不正行為を未然に防ぐために、ケルヒャーはコンプライアンスマネジメントシステムを構築し、法令遵守を確保するための基本的な原則と手順を定めています。この枠組みは私たちの企業理念の中核をなし、会社、経営陣、そして従業員を保護する重要な役割を果たします。

このケルヒャーのコンプライアンスに関するパンフレットは、事業活動において法令を遵守するための手引きとして活用してください。責任ある行動を重視する企業として、私たちは法令違反やグループ内規則の違反を防止するための情報提供や個別のアドバイスも行っています。私たちは、長期的に強固なコンプライアンス文化を確立するために、皆さんが疑問や懸念事項を持った時に、いつでも相談できる環境を整えていますので、遠慮なく問い合わせてください。



私たちの3つの原則 – 成功への道を 歩み続ける方法

予防

誠実な行動の基盤となるのは、確かな知識です。常に最新の情報を把握するために、以下の点を心がけてください。

- 自身の責任と職務の範囲において一般的に適用される法令や基準を理解し、プロセスマネージャーと協力して、それらを既存の業務プロセスに組み込んでください。
- 会社の方針やガイドラインを熟読し、その内容を考慮して業務に取り組んでください。
- 専門分野に関するトレーニングコースを積極的に受講し、継続的に自身のスキルアップを図ってください。
- 法令、規制、過去の事例、そして既存の問題への適用について、同僚、直属の上司、またはコンプライアンス担当者と積極的に意見交換し、率直に議論してください。

発見

入念な予防策を講じ、細心の注意を払っていたとしても、リスクを早期に特定し、（意図せず起こる）コンプライアンス違反を未然に防ぐためには、常に警戒を怠らないことが重要です。

- ケルヒャーは、従業員一人ひとりが自身の行動に対して高い個人的責任を負うことを期待しています。そのため、逸脱や違反を特定する際には、「スリーラインモデル」と呼ばれるモデルを適用しています。

第1ライン：各部門が、それぞれのプロセス、手順、基準、規制の遵守状況を自ら確認し、必要に応じて独立して問いかけを行います。

第2ライン：各マネジメントシステム（情報セキュリティマネジメントシステムなど）が、プロセス、手順、基準、規制の遵守をサポートし、その実施状況に関する透明性を確保します。

第3ライン：内部監査部門が、抜き打ち検査などの手法を用いて、上記の第1ラインと第2ラインの有効性を客観的に評価します。



対応

コンプライアンスに関する不規則性や矛盾に気づいた場合は、ためらわずに懸念事項を通報してください。すべての通報は、従業員と会社を守り、コンプライアンスマネジメントシステムをより良いものにするために不可欠です。ケルヒャーへの通報には、匿名での通報を含め、様々な方法があります。

- コンプライアンス違反を発見した場合、または違反の疑いがある場合は、直ちに上司または担当者に直接相談するか、内部通報システムを利用して匿名で通報してください。
- コンプライアンス違反を黙認したり、見て見ぬふりをしたりした場合、あなた自身が法的責任を問われるリスクがあることを理解してください。



企業に及ぼす 潜在的な影響

コンプライアンス違反がもたらす影響は、非常に広範囲に及びます。罰金や損害賠償金の支払い、利益の没収といった経済的な損失はもちろんのこと、公共事業の入札資格を失ったり、企業イメージが大きく損なわれたりする可能性もあります。中でも深刻なのは、顧客やビジネスパートナーからの信頼が損なわれ、時には完全に失われてしまうことです。長期的な視点で見れば、悪い評判は、例えば罰金の支払いよりもはるかに大きな経済的損失につながる可能性があります。さらに、グローバルに事業を展開するケルヒヤーにとって、海外拠点や子会社で発生した問題は、親会社やグループ全体に影響が及ぶ可能性があります。その結果、単一の企業に影響を与える場合よりも、はるかに大きな損害につながりかねません。

従業員への潜在的な影響

コンプライアンス違反の責任は、会社自身だけでなく、従業員や外部の人物にも及ぶ可能性があります。これは、積極的に違反行為に関与した者に限らず、違反を知らながら容認したり、防止する義務を怠ったりした者も訴追の対象となる可能性があるということです。

従業員が受ける影響は、警告や解雇といった雇用に関する法律に基づく措置から、損害賠償金の支払い、さらには罰金や懲役刑を含む刑事罰に至るまで、多岐にわたります。

したがって、ケルヒヤーは潜在的なコンプライアンス違反の防止を極めて重視しています。万が一、違反が発生した場合には、可能な限り迅速に対処し、その違反に対する対策を講じるだけでなく、将来の違反を防止するための措置も徹底しなければなりません。

コンプライアンス 違反への対応

早期対応が成果を生む

コンプライアンス違反は、早期に特定され、迅速に対処されるほど、ケルヒヤーとその関係従業員への損害を最小限に抑え、適切な措置を講じることが可能になります。

一人一人の貢献が大事

疑問や不安を感じた場合は、決して抱え込まず、すぐに相談してください。そうすることで、社内に強固なコンプライアンス文化を築き、ケルヒヤーを損害から守ることに大きく貢献できます。

通報されたすべての事案は調査されます。

コンプライアンス調査チームは、「コンプライアンス」と「内部監査」の専門家で構成されており、通報されたすべての事案を誠実に処理し、調査の進捗状況を通報者にお知らせします。通報された情報は機密情報として扱われます。もちろん、誠意をもってコンプライアンス違反の可能性を通報した方が、不利益を被ったり、不当な扱いを受けたりすることはありません。匿名での通報を希望される場合は、内部通報システムを通じていつでも連絡することができます。

コンプライアンスに関するお問い合わせ

コンプライアンスに関する質問は、まず上司に相談してください。

ケルヒヤーの各子会社には、従業員と上司の窓口となる現地のコンプライアンス・マネージャーが配置されています。気軽にお問合せください。

また、コーポレート・コンプライアンス・オフィスにも連絡いただけます。





コンプライアンスに関する お問い合わせ

コンプライアンスに関する質問は、まず上司に相談してください。

ケルヒャーの各子会社には、従業員と上司の窓口となる現地のコンプライアンス・マネージャーが配置されています。気軽にお問い合わせください。

また、コーポレート・コンプライアンス・オフィスにも連絡いただけます。

問い合わせは、**compliance@kaercher.com** までお願いします。必要に応じて、内部通報システムを通じて匿名で質問やコメントを提出することも可能です。

このシステムは、ケルヒャーネットおよび
www.kaercher.com/compliance で利用できます。

